



# 高井戸東小学校

URL <http://www.suginami-school.ed.jp/takaidohigashisyou/> TEL 03-3304-5711

1月号  
No. 634

## 人にしかできないこと

校長 馬場 章弘

あけましておめでとうございます。

年が改まり、3学期がスタートしました。学校にまた子供たちの元気な声が戻ってきました。今年は午年。そして、丙午（ひのえうま）という年です。今年還暦を迎える方が生まれた前回の丙午のときは、著しく出生率が下がった年でもありました。今ではそのようなことはありませんが、出生率の低下には歯止めがかかっていない状態です。

これからはAIがどんどん発達して、数値的なものの処理やある程度の反復作業は人間が直接行うことは減ってくことでしょう。私が育ってきた時代で言えば、昔はバスには必ず車掌さんがいました。バスに乗るための切符を売り、ドアの開け閉めをしていました。それが今では、切符を切ることもなくSuicaなどのICカードやスマートなどで乗ってしまう時代になりました。そこに人はもう必要ないのです。車の運転もますます「自動運転」の方向で開発が進んでいきます。ロサンゼルスやサンフランシスコ、中国の複数都市でもタクシーはすでに無人化されているそうです。

しかし、人にしかできないこともあります。例えば、「気持ちを込める」というのは、どうでしょう。もちろんAIには感情がないので（今のところ）込めるることはできません。「気持ちを込める」という行動は、人間にしかできない行動です。人間はとても複雑で、ある意味理解しづらいものです。それでも、その人の考え方や好みは

世界中でその人にしかないので、そこに正誤や優劣はありません。

子供たちは、100年とされる人生でいうならば、まだスタートしてほんの少ししか経っていません。これから経験し学んでいくことの方がはるかに多いです。そして、その道のりには「成功」と感じることもたくさんあるでしょうが、その裏で何倍もの「失敗」と感じることがあるはずです。

本校では子供たち一人一人の多様性を大事にしています。誰でもその人のままで価値があり、かけがえのない命だということをしっかりと伝えていかなければならないと考えています。友達に対して差別やいじめをする子たちはどうしてもでてきます。それに対しあきらめることなく「それはちがう」「それはいけないこと」と伝え、「それは失敗なんだよ」と理解してもらうことで、お互いを大切にする心を少しずつ育てていきたいと考えています。そのように考えられるような人としての基本的な感覚の種まきを常にしていきたいと思います。このことは、学校だけでできるものではありません。各ご家庭でも伝えていってもらわなければなりません。一人一人の子供たちが「かけがえのない命」「かけがえのないわが子」として大切にされることで、「人を大切にする」という行動が具体的にどのようなものかわかるからです。

人にしかできないことの基本は、「人を大切にする」とだと、年初に当たり改めて思いを強くしました。

## 多様性理解に向けて

3年生の国語の教科書にのっている詩『みんなちがってみんないい』（金子みすゞ）をご存じでしょうか。人間や小鳥や鈴を描写することで、それぞれにできることは違うが優劣ではなく、すべてが尊いという考え方が込められている詩です。

高井戸東小では、多様性を理解するための学びを、各学年、年間5時間の計画をして取り組んでいます。国語、学級活動、保健体育、保健指導、道徳、総合的な学習時間等の関連した学習の際に教師が意識して指導することで、子供たちに理解の種まきをしています。多様性理解は多岐にわたりますが、身近な「自分・友達」からスタートしています。子供たちは、自分が満たされていなければ「あの子だけずるい」と不満をもち、自分に自信がもてなければ、自分より劣る（と認識する）人と比較し、「あの子は変だ」「簡単なことしかできない」と他者を見下す行動をすることで一時的に自尊心や優越感を得てストレスを軽減しようとする心理的な防衛本能が働きます。自分が大切にされている実感があれば他者をからかったり攻撃したりしなくとも大丈夫な自分への自信がもて、他者の立場を思いやり、理解することもできるのではないかでしょうか。

一人一人が大切で、一人一人がすてきだということを学校と家庭の双方で子供たちに伝えていきましょう。誰もが幸福に自分らしく生きられる社会への一歩を保護者の皆様と共につくっていきたいと考えます。